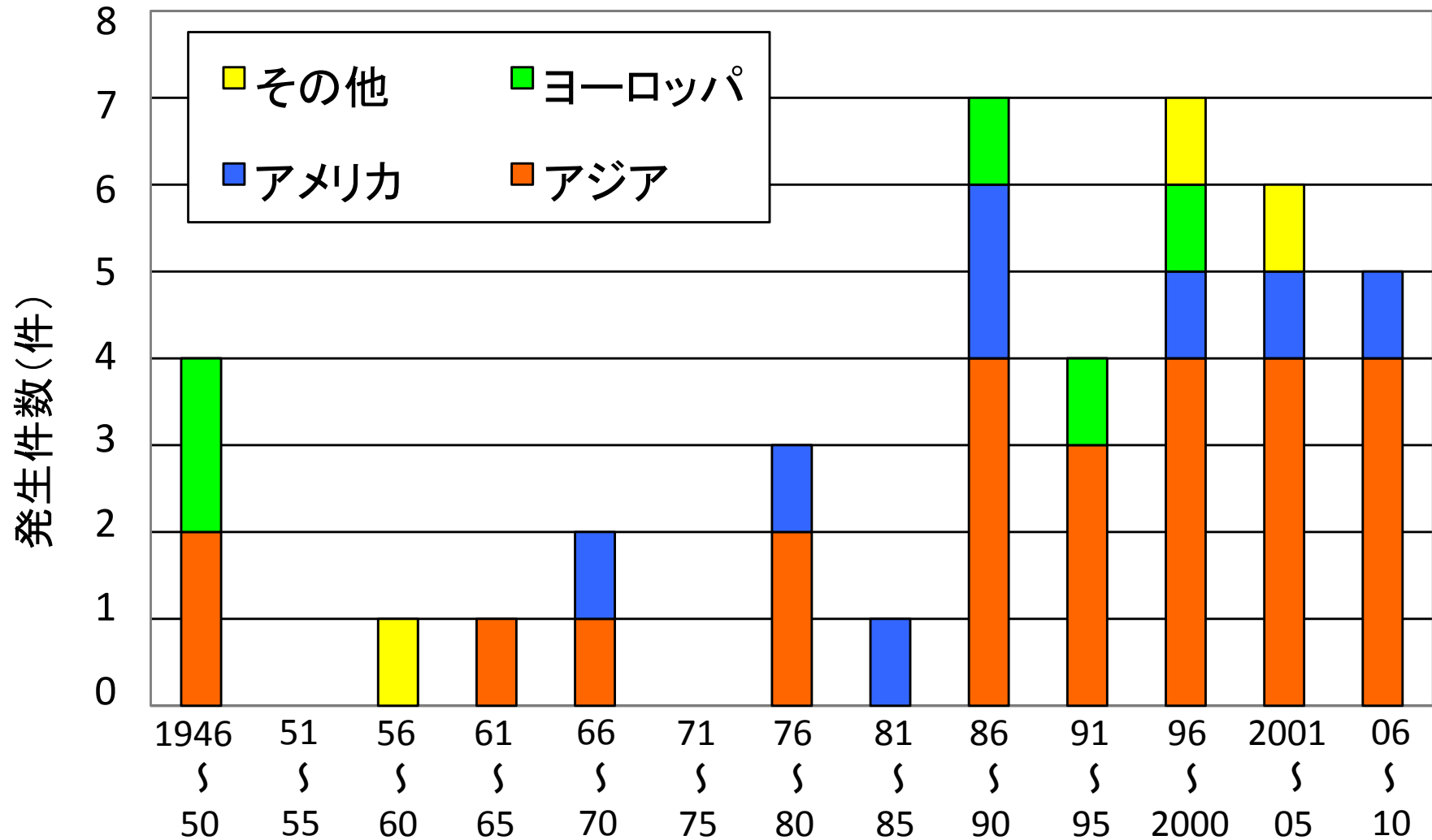


議題名：途上国における防災・減災事業に関する  
NGOとODAの連携について

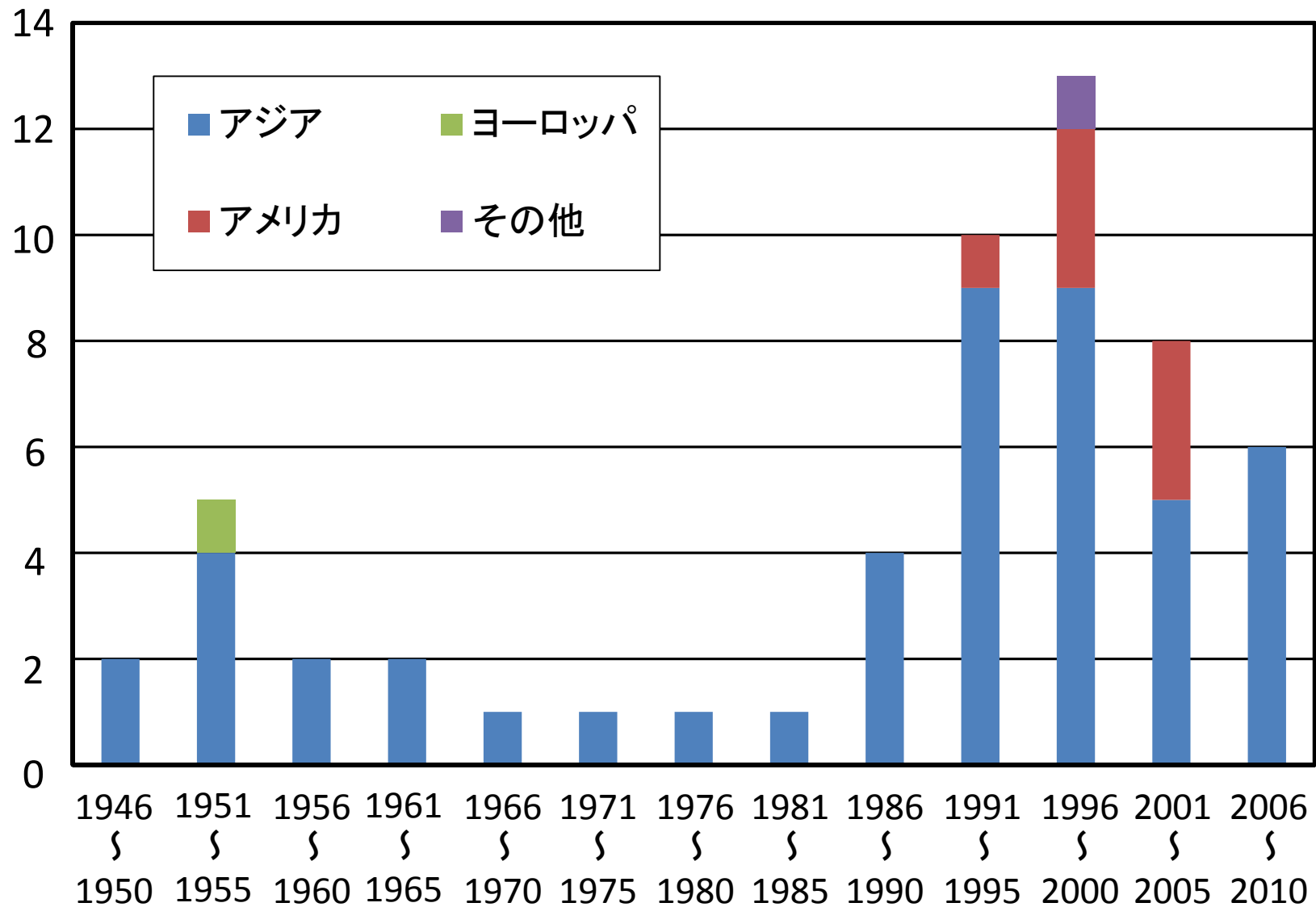
提案者：濱田政則  
NPO 国境なき技師団 理事長

2013年7月16日

NGO・外務省定期協議会、2013年度「第1回連携推進委員会」

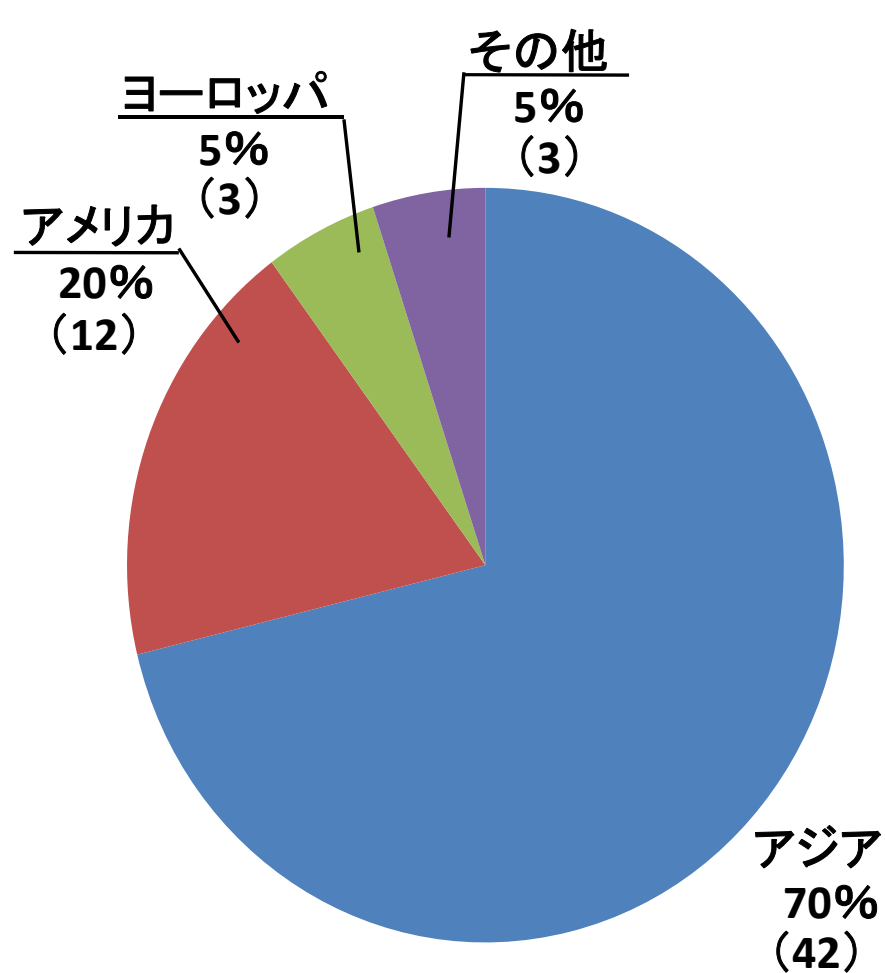


1946年以降の地震・津波災害の発生件数  
 (1000人以上の死者・行方不明者を出した災害, 5年間毎の発生件数)

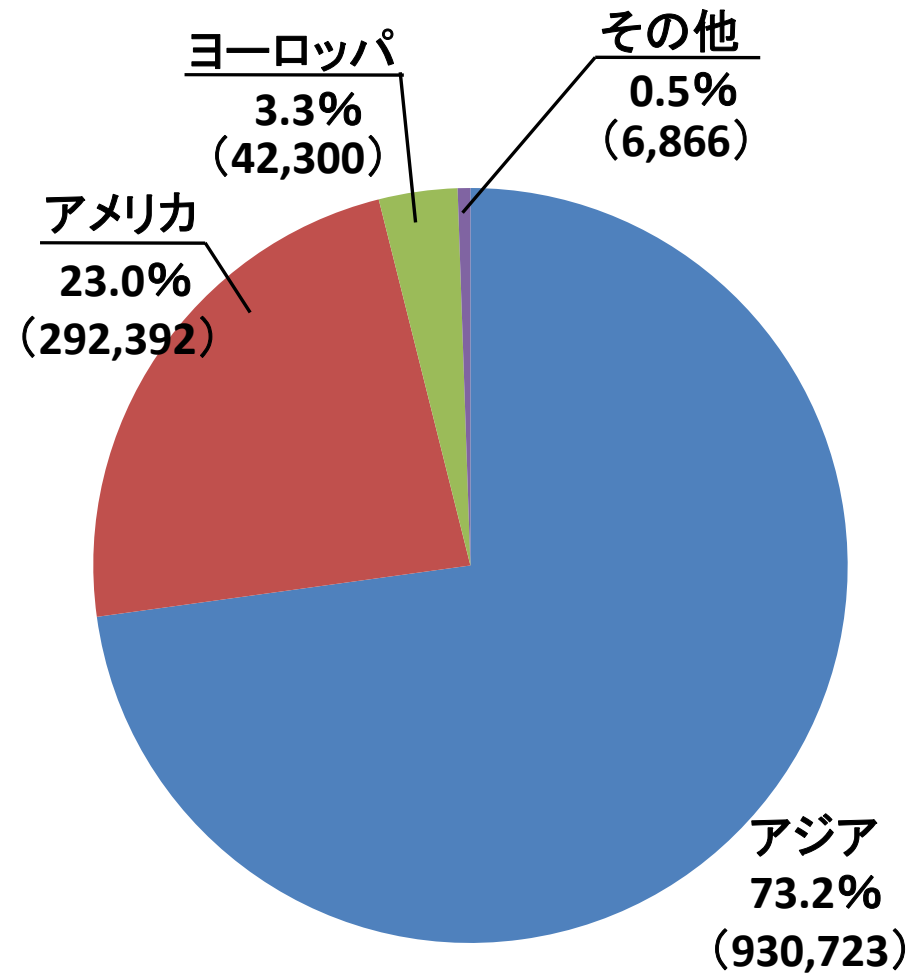


(出典:防災白書の統計を図化)

世界における風水害の発生件数  
 (洪水・台風・ハリケーン等による死者・行方不明者1000人以上)の発生件数



(a) 自然災害の発生件数 : 60

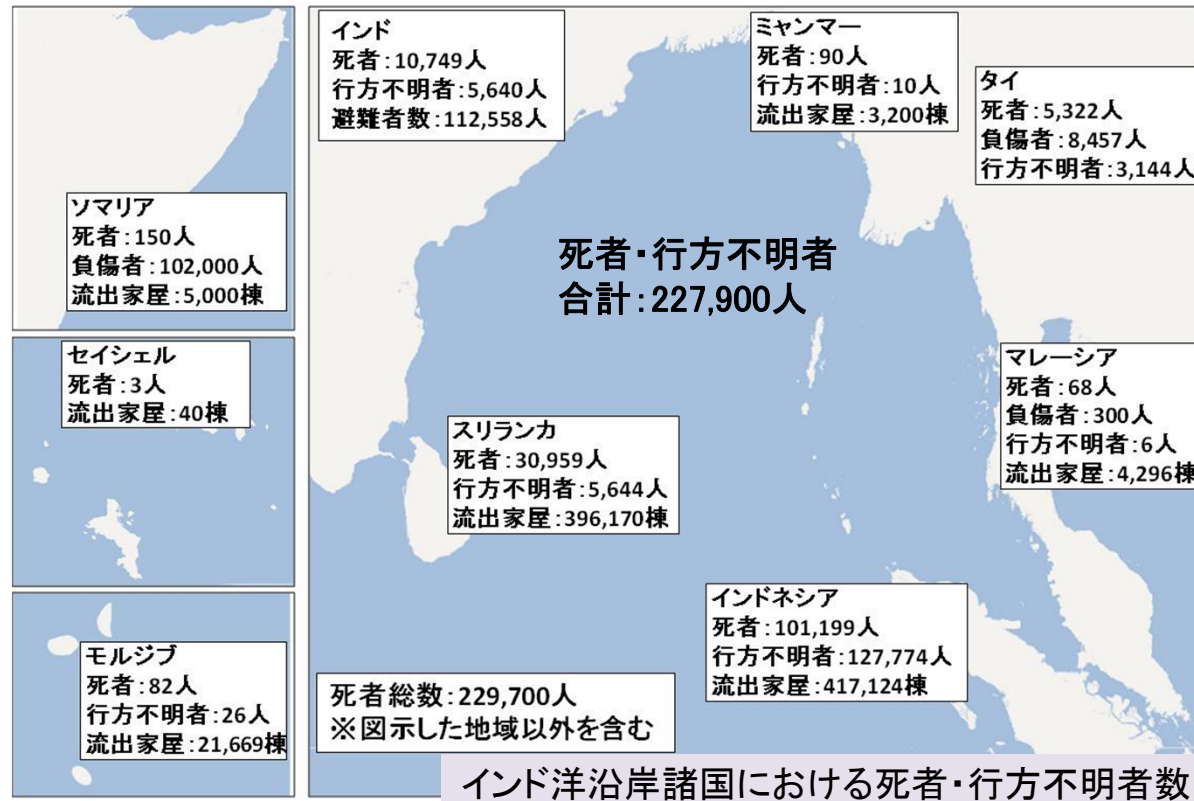


(b) 死者・行方不明者の数 : 1,272,281

地域ごとの自然災害の発生件数と死者・行方不明者の割合(1986年～2011年)

# 国境なき技師団 (Engineers without Borders, Japan) の設立

5



## 国境なき技師団:

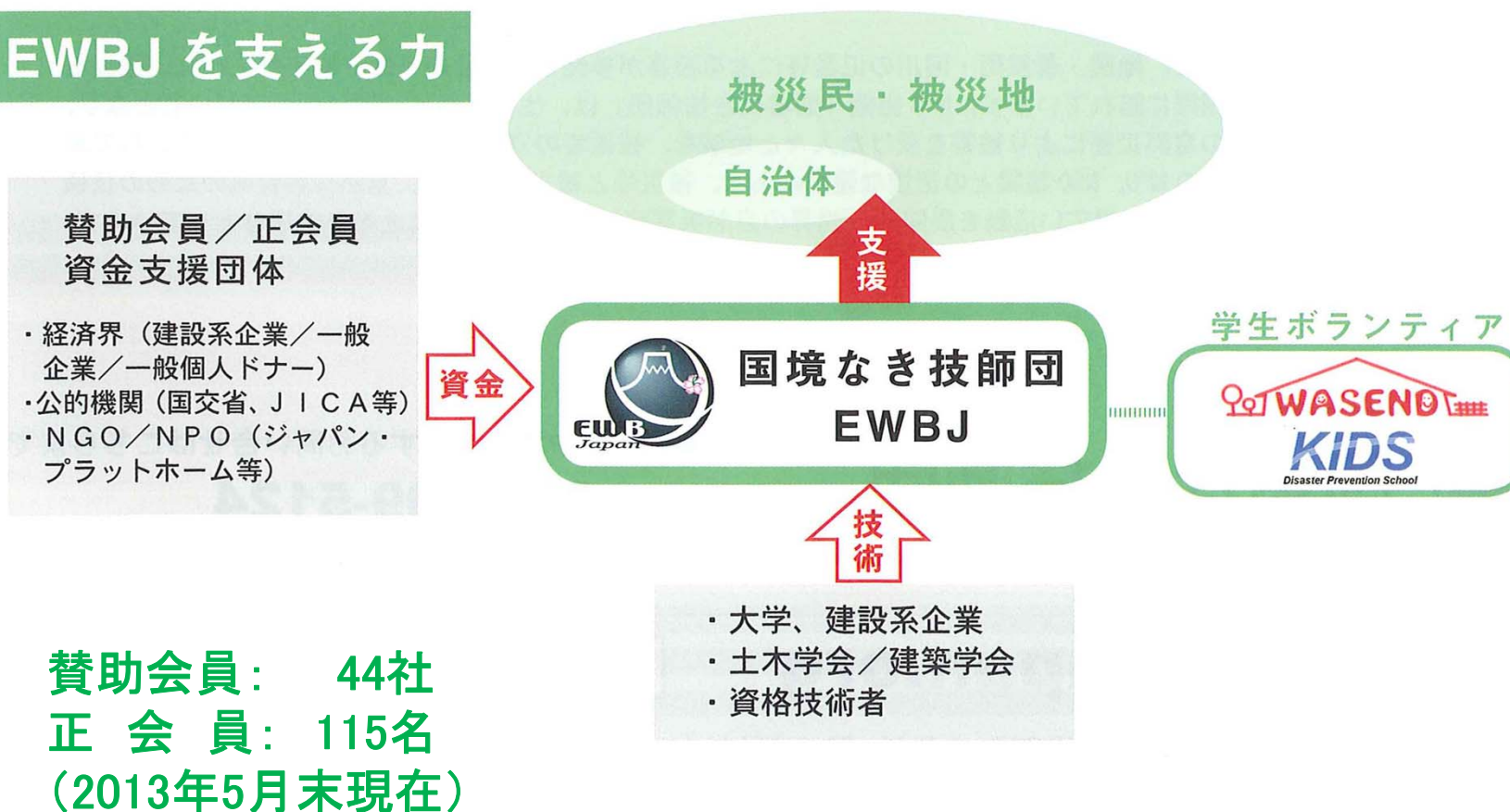
設立2004年、「国境なき技師団」の活動の原点は技術者1人1人の草の根的活動にあり、その使命は国境を越えて自然災害の軽減と被災地の復旧・復興に技術者集団として貢献することにある。

## 主要な活動:

- (1) 自然災害による被災地域の復旧と復興のための支援と提言
- (2) 自然災害軽減化技術の普及
- (3) 防災教育
- (4) 国際的防災研究の推進

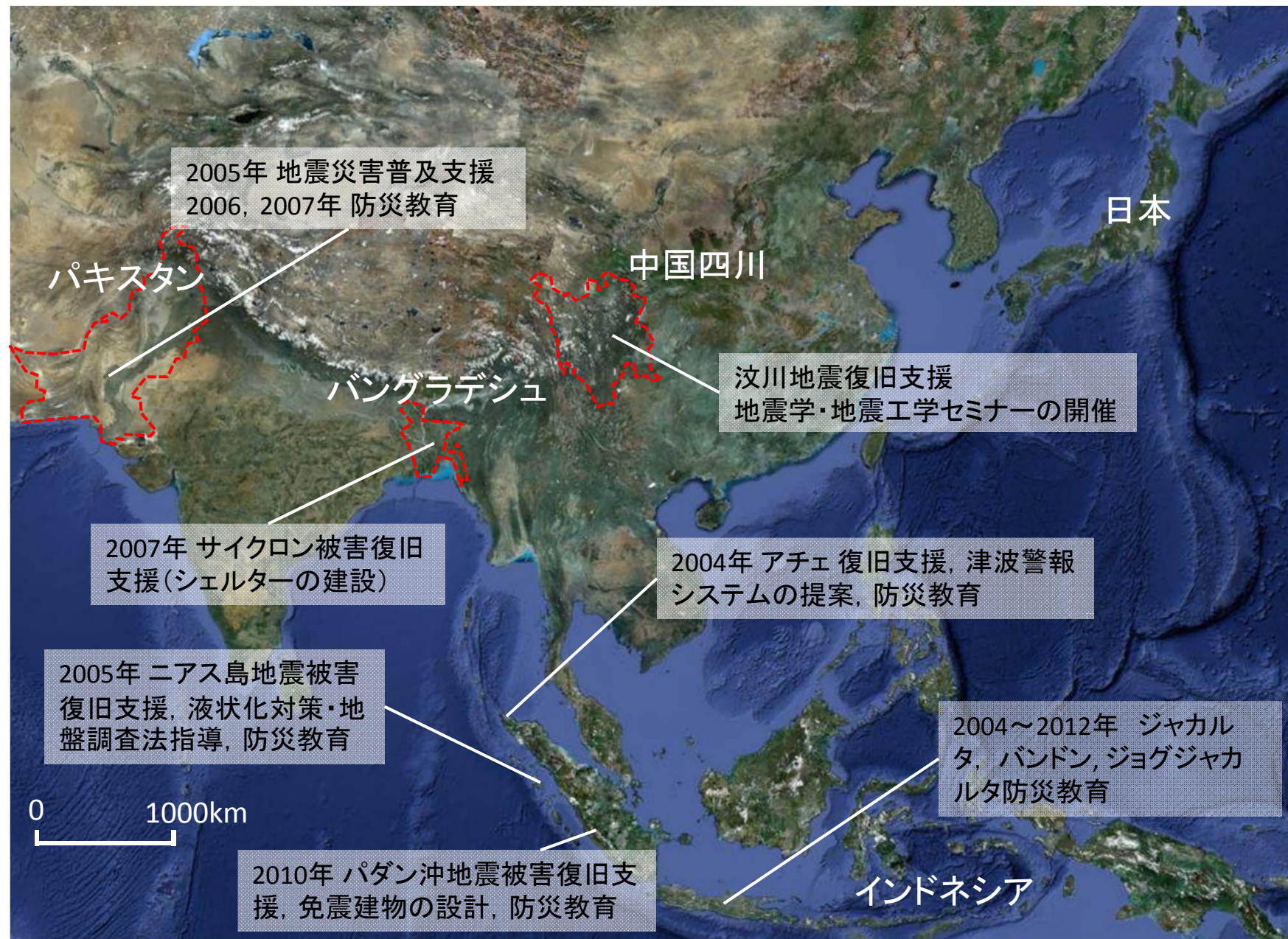


## EWBJ を支える力





# 国境なき技師団による海外での活動





# 国境なき技師団の活動

8



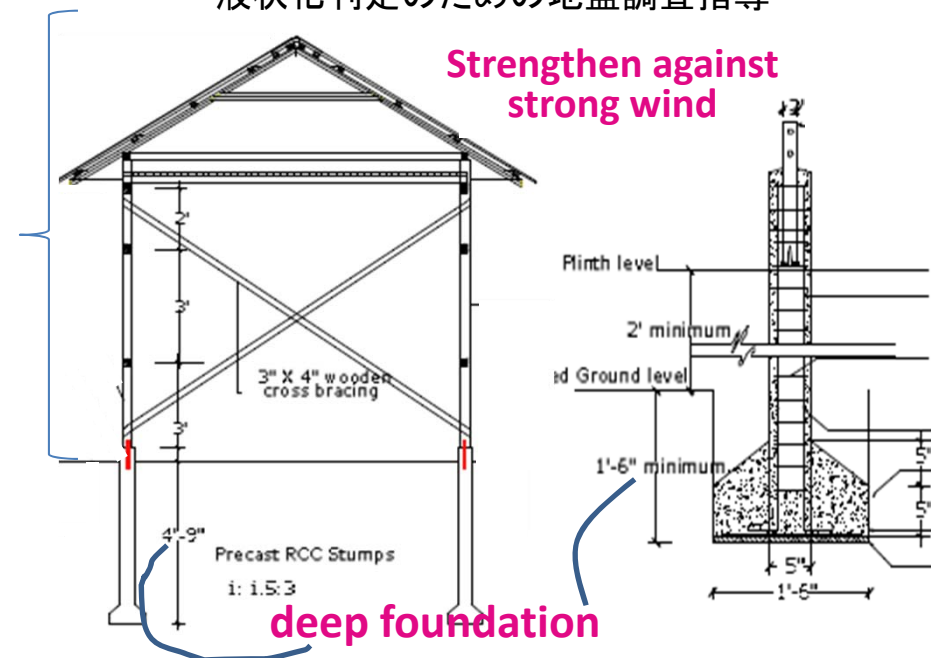
2005年ニアス島地震における橋梁の液状化被害



液状化判定のための地盤調査指導



バングラディッシュにおけるサイクロン被害



対サイクロン木造家屋建設指導(設計施工マニュアルの策定)



# 防災教育活動

早稲田大学防災教育支援会(WASEND)

京都大学防災教育の会(KIDS)



地震のメカニズムを劇で説明する様子(パダン)



仮設テントの教室での防災教育(アチェ)



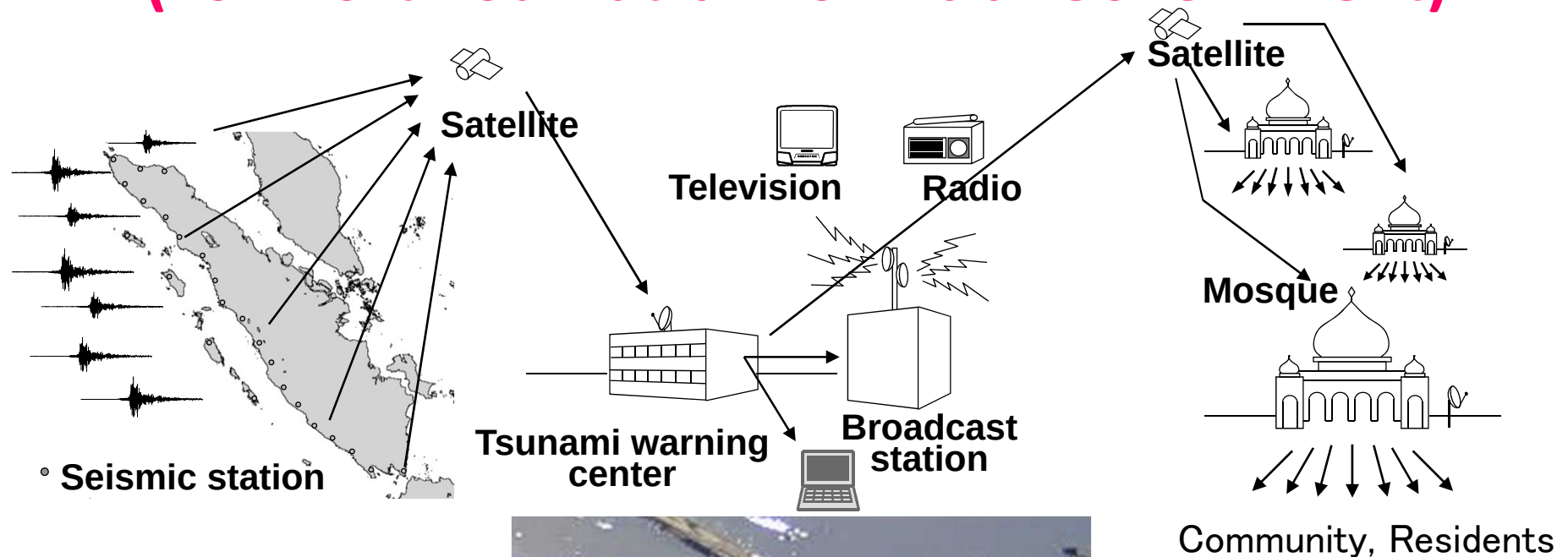
インドネシアの学生との連携(バンドン)



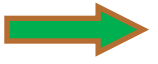
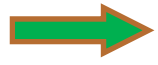
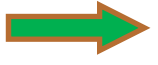
バンダアチェにおける津波モニュメントと防災教育  
(京都大学 家村教授、土木学会)

# Proposal for Regional Tsunami Warning System by Engineers without Borders, Japan (For North Sumatra Provincial Government)

10



## 途上国における防災システムの整備に関わるNGOの役割<sup>11</sup>

- 1) 効果的な防災システム(地震速報、津波警報等)は地域の実状(地震・津波の発生状況、地域社会の防災性のレベル、構造物・施設の耐震性・耐津波性、地形・地質条件等)に応じて構築される必要がある。 地域との連携を行って来たNGOに多くの知見と情報が蓄積されている。
- 2) 防災システムの運用・管理には長期的、専門的対応が不可欠である。 NGOは地域の大学、民間団体および行政と連携して来た。NGOのもつ防災分野の専門的知見が生かされる。
- 3) 防災システムの有効利用については地域住民の防災意識の向上が不可欠である。 NGOが行って来た地域住民の防災教育、防災訓練と一体化を図る必要がある。



# 日本学術会議・自然災害軽減のための 国際協力のあり方検討委員会

